

令和2年度の取り組みについて

第8回 室蘭市地域公共交通活性化協議会
令和2年2月20日（木）



R2年度の室蘭市公共交通関係予算(案)の概要

記載内容は、予算内示資料のものであり、今後の精査により変動があり得ます。

※主要な予算のみ抜粋

項目	概要	事業費
高齢者の外出支援 ワンコインパス助成	<ul style="list-style-type: none">対象者：満70歳以上の市民バス事業者が発行するパス（3,000円：有効期間1年）を購入すると、市内路線バスを1回100円で乗車可能	928万円
高齢者の外出支援 ふれあいパス助成	<ul style="list-style-type: none">対象者：満70歳以上の市民室蘭・登別・伊達の路線バスが乗り放題バス事業者が発行するパス（1ヶ月パスは4,580円）の購入に、市が助成 6月まで800円助成（自己負担3,780円） 7月以降500円助成（自己負担4,080円）	813万円
公共交通利用促進事業	<ul style="list-style-type: none">小学生向けバス乗り方教室（継続）高齢者向けバス乗り方教室（新規）	17万円
地域公共交通再構築検討調査	<ul style="list-style-type: none">次ページ以降で説明	348万円
生活交通路線維持確保バス補助金	<ul style="list-style-type: none">生活交通を確保するために必要な市内路線で、収支割合が90%未満の路線を補助対象	783万円
地域コミュニティ交通事業	<ul style="list-style-type: none">石川町会との連携によるスクールバス混乗	7.4万円
	計	2,896.4万円

持続可能なバス路線網の 構築に向けた検討

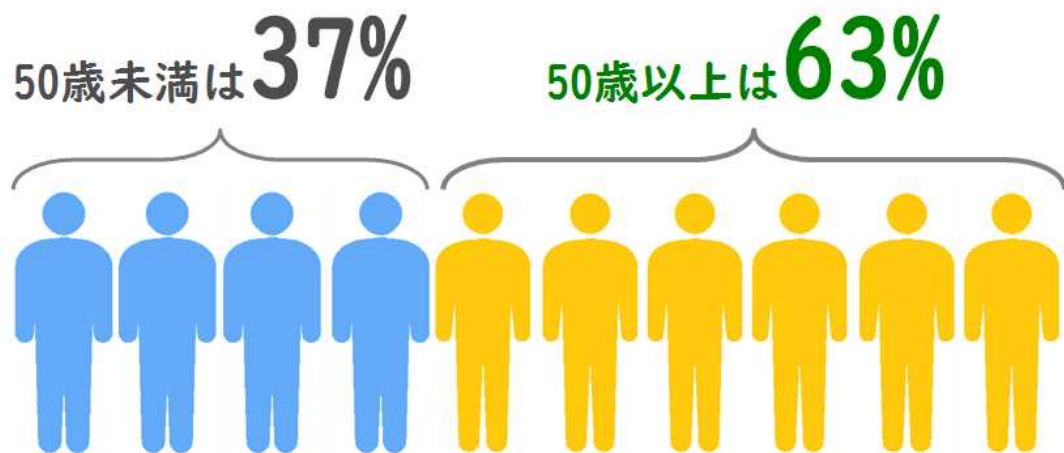
持続可能なバス路線網の構築に向けた検討

記載内容は、検討段階のものとなりますので、今後の精査により変更があり得ます。

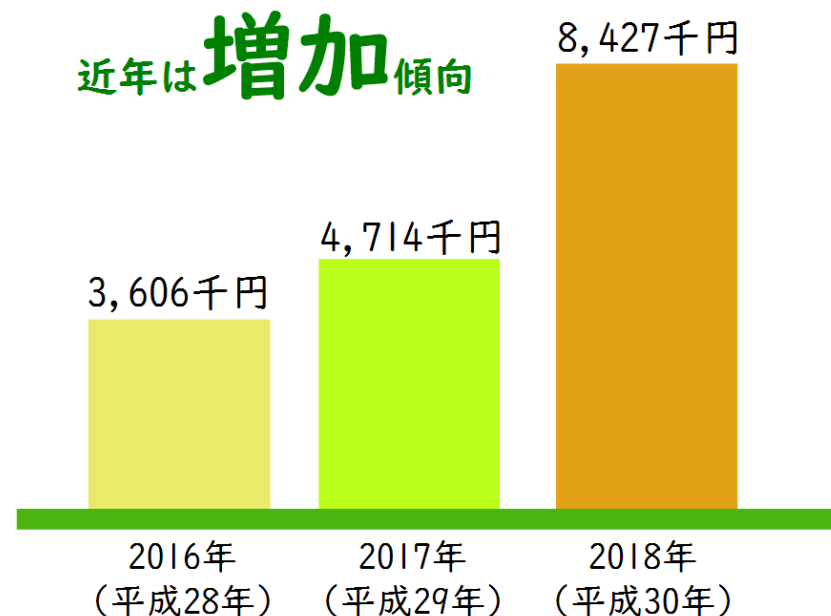
【現状】

- 昨年末のバスダイヤ改正により、少なからず市民生活に影響
- バス・タクシー業界では、今後も運転手不足は避けられない
- 室蘭市のバス補助金は、近年増加傾向
- 今後数年で公共施設の再編や商業施設立地などの動きがある

→ 計画に位置付けた「持続可能なバス路線網の構築」に
R2から着手



▲ 図1 バス運転手の年齢構成



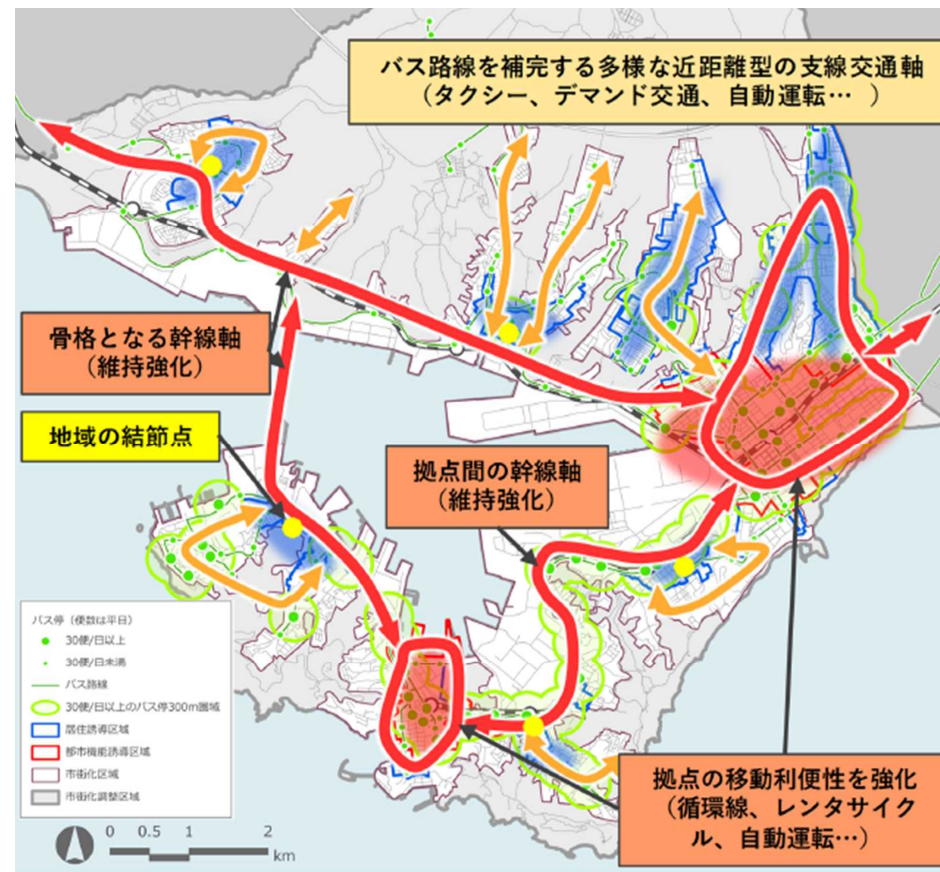
▲ 図2 室蘭市バス補助金の推移

持続可能なバス路線網の構築に向けた検討

記載内容は、検討段階のものとなりますので、今後の精査により変更があり得ます。

【取り組みの方向性】

- 室蘭市地域公共交通網形成計画の将来イメージの具現化に向け、検討に着手
- 行政・交通事業者等が一体となり、まちの交通を考える
- まずは2カ年を目途に、将来イメージの具現化や現行路線の課題抽出などを実施
- 当協議会・議会・地域等との説明・意見交換を進めながら、議論を深める



▲ 図3 計画における将来イメージ

持続可能なバス路線網の構築に向けた検討

記載内容は、検討段階のものとなりますので、今後の精査により変更があり得ます。

【事業概要】

- R2年度は、課題抽出等に係る業務を委託
- 検討項目としては、以下の内容を想定

- ▷ 路線別の利用や収支の詳細分析
- ▷ 人口推計や施設配置等を踏まえたバス路線モデルの検討
- ▷ バス交通の利便性の低い地域への新たな交通手段の検討 等

【スケジュール】

R2年度				R3年度				
4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	
調査業務委託 (必要に応じ意見聴取等)				協議・検討				一定の 取りまとめ
協議会		協議会		協議会			協議会	